

軍拡財源 法案

世論と連携し 廃案に全力

志位委員長が表明

日本共産党の志位和夫委員長は18日、国会内で記者会見し、軍拡財源法案にかかわって、大軍拡のための増税などに多くの国民が反対しているとして「この法案を廃案に追い込むため、世論と連携・共同して全力をあげたい」と表明しました。

5年間で43兆円もの軍事費確保へ「特別措置」 法案が抱える2つの大問題



記者会見する志位和夫委員長＝18日、国会内（写真「しんぶん赤旗」）

1 医療や年金のための積立金 や特別会計を不当に流用

本来、その目的のためにしか使えないことになっている医療や年金のための積立金を「防衛力強化資金」に繰り入れる新しい仕組みを作ろうとしています。

志位委員長は会見で「法律上国庫に繰り入れることができないようになっている資金を軍拡財源として繰り入れる仕掛けをつくる。こうしたやり方を横行させたらまともな法治国家ではなくなる」と批判しました。

2 国庫が防衛省の自由に 使える「ポケットマネー」に

5年間で43兆円もの軍事費をあらかじめ確保するこの法案は、会計年度ごとに予算を作成して国会で審議する「単年度主義」＝財政民主主義の破壊です。

志位氏は「さまざまなお金を『防衛力強化資金』というプールに入れ、防衛省にとって複数の年度にわたって自由に使える『ポケットマネー』にしようとしている」と指摘しました。

記者会見動画はこちら →



平和、暮らし、憲法を壊す岸田大軍拡ストップを！

憲法9条も「専守防衛」もかなぐり捨てて敵基地攻撃能力の保有と大軍拡のために軍事費を勝手に使う、こんなやり方は許せません。力をあわせ岸田大軍拡をストップさせましょう。

署名用紙はこちら →



参議院議員

吉良よし子

日本共産党

東京
民報

ご連絡・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590

2023年5月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。

発行 / 東京民報社（港区芝 1-4-9 平和会館5階）1965年11月12日第三種郵便物認可

軍拡財源 法案

世論と連携し 廃案に全力

志位委員長が表明

日本共産党の志位和夫委員長は18日、国会内で記者会見し、軍拡財源法案にかかわって、大軍拡のための増税などに多くの国民が反対しているとして「この法案を廃案に追い込むため、世論と連携・共同して全力をあげたい」と表明しました。



記者会見する志位和夫委員長＝18日、国会内（写真「しんぶん赤旗」）

5年間で43兆円もの軍事費確保へ「特別措置」 法案が抱える2つの大問題

1 医療や年金のための積立金 や特別会計を不当に流用

本来、その目的のためにしか使えないことになっている医療や年金のための積立金を「防衛力強化資金」に繰り入れる新しい仕組みを作ろうとしています。

志位委員長は会見で「法律上国庫に繰り入れることができないようになっている資金を軍拡財源として繰り入れる仕掛けをつくる。こうしたやり方を横行させたらまともな法治国家ではなくなる」と批判しました。

2 国庫が防衛省の自由に 使える「ポケットマネー」に

5年間で43兆円もの軍事費をあらかじめ確保するこの法案は、会計年度ごとに予算を作成して国会で審議する「単年度主義」＝財政民主主義の破壊です。

志位氏は「さまざまなお金を『防衛力強化資金』というプールに入れ、防衛省にとって複数の年度にわたって自由に使える『ポケットマネー』にしようとしている」と指摘しました。

記者会見動画はこちら →



平和、暮らし、憲法を壊す岸田大軍拡ストップを！

憲法9条も「専守防衛」もかなぐり捨てて敵基地攻撃能力の保有と大軍拡のために軍事費を勝手に使う、こんなやり方は許せません。力をあわせ岸田大軍拡をストップさせましょう。

署名用紙はこちら →



東京
民報

ご連絡・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590
2023年5月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。
発行 / 東京民報社（港区芝 1-4-9 平和会館5階）1965年11月12日第三種郵便物認可

日本共産党